

第3章 千里山・関大前地区の基本方針

3.1 基本方針

千里山・関大前地区の特徴や、ワークショップで抽出された主な問題点をふまえ、千里山・関大前地区の基本方針を以下のとおりとします。

駅から施設へのバリアフリーネットワークの構築をはかります

千里山・関大前地区には、関西大学に通う多くの学生や、図書館等を利用する市民が訪れます。駅からこれらの施設への連続したバリアフリーネットワークの構築をはかり、人々がふれあい、にぎわうまちづくりに寄与するバリアフリー化をめざします。

安心、安全な歩行空間の形成をめざします

千里山駅周辺まちづくり懇談会と連携しながら、歩道の幅員不足や、迷惑駐輪、歩行者・車・自転車の輻輳等のバリアを解消し、より安全・安心・快適に移動できるまちづくりをめざします。また、現在は鉄道により東西に分断されていますが、千里山駅周辺の再整備等に併い、中長期的には一体的に移動できるまちをめざします。

地域のまちづくりと連携したバリアフリーをめざします

千里山・関大前地区の交通バリアフリーは千里山駅周辺まちづくり懇談会と連携しながら進めていきます。また、関西大学が立地するという特性をふまえ、関西大学や地域と連携したバリアフリー化をめざします。